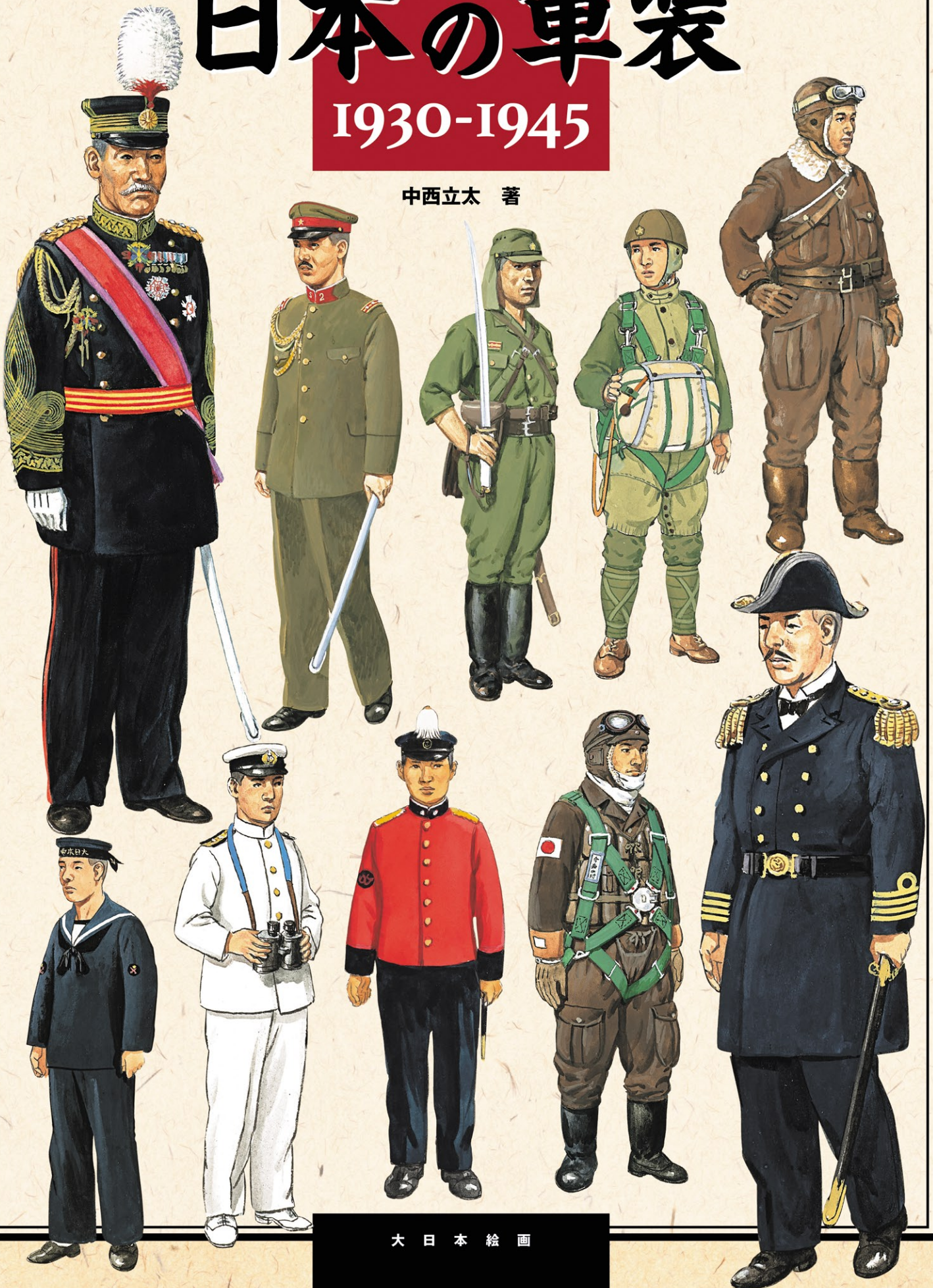


新装版

日本の軍装

1930-1945

中西立太 著



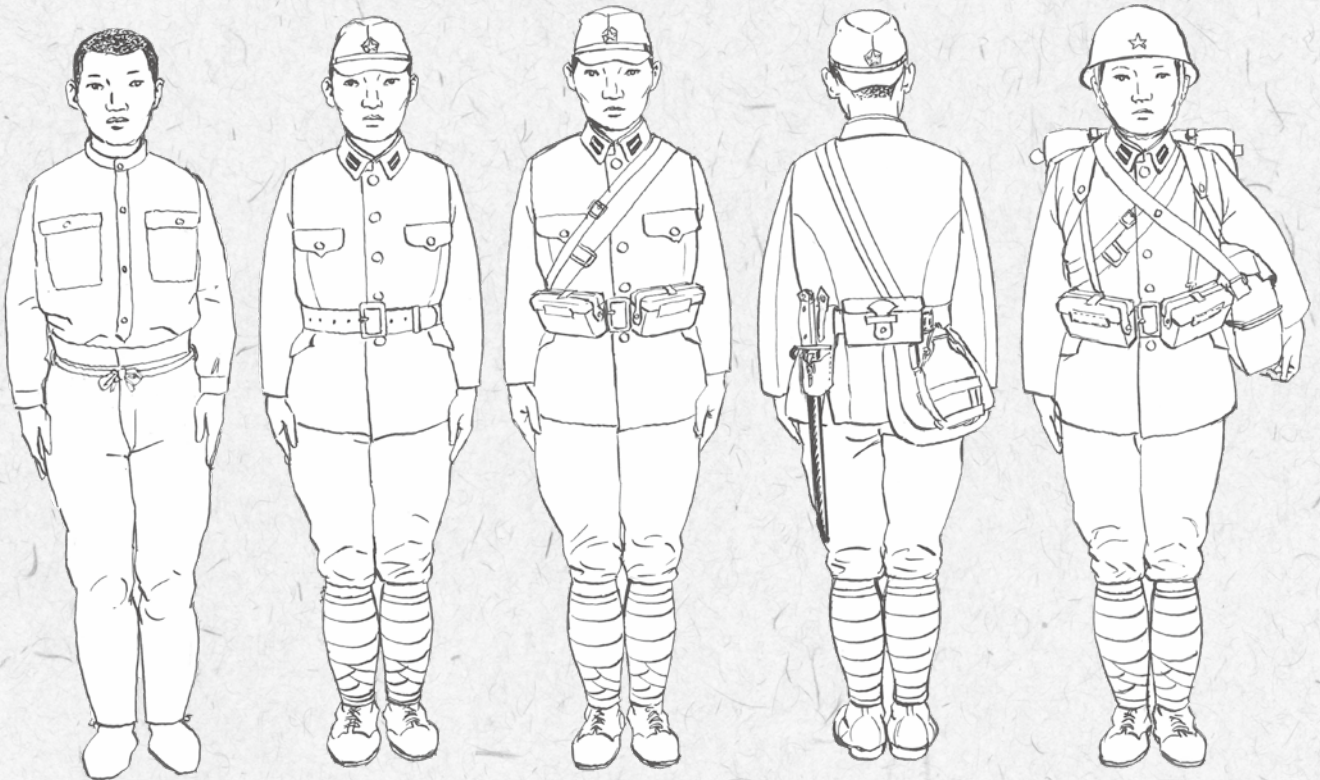
大日本絵画

新装版

日本の軍装

1930-1945

中西立太 著



まえがき

「日本の軍装」 発刊に寄せて 笹間良彦

今回、中西立太氏が明治以降の日本の軍装に関する図鑑を出版されたことはまことに喜ばしい。

氏は、各出版社で歴史複元画を描くイラストレーターとして、また日本の風俗考証画家として独得の分野を拓かれ、今では知らぬ人は居ない。その画業に多忙の中を近代の軍装にまで精密な研究をされ、これの発表は長年月にわたっている。

明治以前は歴史的分野という先入観から興味を持つ者は多いが、近代史の風俗というのは遺物資料が豊富でありながら、あまり注目されないまま失われて行く現状であった。まして、かつての帝国軍隊の資料は軍国主義に繋がるといふ観念のもとにことさらに目をそむけられて来た。

そこで三十年程前であるが、小生が古代から終戦までの軍装史の概略を上下二冊として発表したことがある。もとより研究不足であったから誤謬もあったか、これによって大変な反響を受け、特に明治以降の軍装の研究グループがいくつも作られ、この面の研究は急速に進歩して、資料的にも立派な著書が多く世に出るようになった。

しかし、この面の研究者は画家でないので写真資料が多く用いられ、従って細部が明確に把握されにくい点が多い。

この点、中西氏は画家であるために微に入り細にわたって図示し得る独得の技量を備えており、加えて描かれている人物の性格、立場まで表現されているので生きた資料を見る如く納得できる。

この本はまさに中西氏の明治以降の日本の軍装に対する研究の結集で、このように詳細に図示した書が出ることは今後も難しいであろう。

日本風俗史の中の近代軍装の研究書として、目で見える軍装史の役割は学問的にも貴重な存在として、後世に永く第一級の研究資料としての立場を維持するであろう。

(日本甲冑武具歴史研究会会長)

編者から：

上掲の一文は『日本の軍装』初版(1991年)に寄せられた笹間良彦氏によるまえがき。氏は日本を代表する歴史家であり、武具研究家の第一人者で、終戦前後から日本の武具、風俗史、民俗学研究を目的として日本全国へ足繁く通って資料を収集するとともに半世紀以上にわたって研究を続けた。とくに甲冑研究に造詣が深く、長らく日本甲冑武具歴史研究会の会長を務めていた。

また自身も絵心があり、その著書にも自筆のイラストを多数寄せて、視覚的に伝えることを常に心がけていた人物である。2005年11月5日、89歳で逝去。

今回の『新装版 日本の軍装 1930～1945』の刊行により、文中にある「このように詳細に図示した書が出ることは今後も難しいであろう。」

日本風俗史の中の近代軍装の研究書として、目で見える軍装史の役割は学問的にも貴重な存在として、後世に永く第一級の研究資料としての立場を維持するであろう」との言葉が裏付けられることとなった。

執着心の結晶 寺田近雄

“写真は真実を写すツール”ということになっているが、時には1枚の絵がはるかに真実に迫る場合も多い。

写真では正しい色合いや微妙な細部は掴めず、テーマの軍装でいえば横や後姿、部分や裏面、着装法などは良く研究された確かな筆力による絵には到底及ばない。

カメラのない時代から宮廷を中心に「有職故実」グループによって建造物、儀式、服装、風俗の図録が後世に残され、今では美術品となった行列絵巻や合戦絵巻などと共に正確で貴重なビジュアル史料として評価されている。

カメラが生まれたあとも動物、植物、貝類、蝶類などの図鑑の多くが手書きイラストで表現されている。レオナルド・ダビンチはその先駆者といえよう。

軍装研究の盛んなヨーロッパでは中世のカラー軍装図鑑の多くが博物館に残されており、研究者、愛好家かその知識を表現するための絵画力は必須条件である。亭主が文を、女房が絵を描いて本を作る人もいる。

しかし日本では、文章と絵画が分業化されて活字よりイラストを低く見る時代遅れの風潮もあり、大学教授でその知識を優れた絵で表現し得る人はまれである。

著者の中西立太氏は画家から軍装研究の道へ踏み込んで一家を成した笹間良彦先生と共にわが国では稀有の存在である。

以前、1枚の軍装画の監修を頼まれ、軽率に2、3の感想をもらしたところ、“わかりました”と一言言って、恐らく1週間は費したであろう労作を破棄して初めから書き直した“絵師の良心”に接して襟を正したことがある。

真実のためには妥協を許さないこの良心を軸に、信州人特有のしつこいまでの探究心、鍛え抜いた筆力などが結晶してこの本が生まれた。

この分野では日本で初めてのカラー軍装図鑑の誕生を心から喜びたい。

编者から：

上掲の一文は同じく『日本の軍装』初版時に寄せられた寺田近雄氏によるまえがきである。

軍事研究書籍の著者が多数あることでも知られる寺田氏は1930年9月生まれで、著者の中西氏よりも4才年長であった。早稲田大学卒業後、RKB毎日放送や日本テレビ放送網でアナウンサー、放送記者、テレビプロデューサーとして活躍し、1981年に退職。寺田事務所を起し近代日本軍事史の研究に入って多くの著作を残している。2014年6月、83歳で逝去。

「時には1枚の絵がはるかに真実に迫る場合も多い。

写真では正しい色合いや微妙な細部は掴めず、テーマの軍装でいえば横や後姿、部分や裏面、着装法などは良く研究された確かな筆力による絵には到底及ばない」

この一文こそが本書の目的であり存在価値を如実に物語っている。



日本陸海軍の階級呼称について

本書に登場する日本陸海軍の階級呼称はタイトルに表記しているように昭和のはじめ（1930）頃から昭和20（1945）年8月の太平洋戦争の終戦までに使われたものを用いている。

陸海軍それぞれの階級呼称を対応させたものが下表のようなもの。よく、「日本の陸海軍は仲が悪いから階級呼称も違った」などと言われるが、大きく違ったのは准士官以下で、士官の場合は全く共通である（ただし、海軍における予備士官や特務士官は、必ずしも並列ではなかった）。

じつは陸軍と海軍、空軍で階級呼称が違うのは我が国よりも欧米の方が顕著で、陸軍大尉はCaptain（キャプテン）だが、海軍でCaptainといえば大佐というのが英語圏の国の軍隊では共通（民間でも、キャプテンといえば船長さんのこと）で、海軍大尉はLieutenant（ルテナント）となる。

本書では英文キャプションを極力つけることを心がけており、陸軍では陸軍の、海軍では海軍の英語圏階級呼称に準じて表記しているのでその違いも楽しんでいただきたい。

陸軍			海軍	昭和17年11月～
大将	士官	将官	大将	
中将			中将	
少将			少将	
大佐		佐官	大佐	
中佐			中佐	
少佐			少佐	
大尉		尉官	大尉	
中尉			中尉	
少尉			少尉	
准尉	准士官		兵曹長	
曹長	下士官		一等兵曹	上等兵曹
軍曹			二等兵曹	一等兵曹
伍長			三等兵曹	二等兵曹
兵長	兵		一等水兵	水兵長
上等兵			二等水兵	上等水兵
一等兵			三等水兵	一等水兵
二等兵			四等水兵	二等水兵

※陸軍准尉は昭和7（1932）年までは特務曹長と呼ばれた。陸軍兵長は日華事変の長期化に伴い兵役期間が伸びて古い上等兵が増えたため、昭和15（1940）年に新たに設置された階級であった。

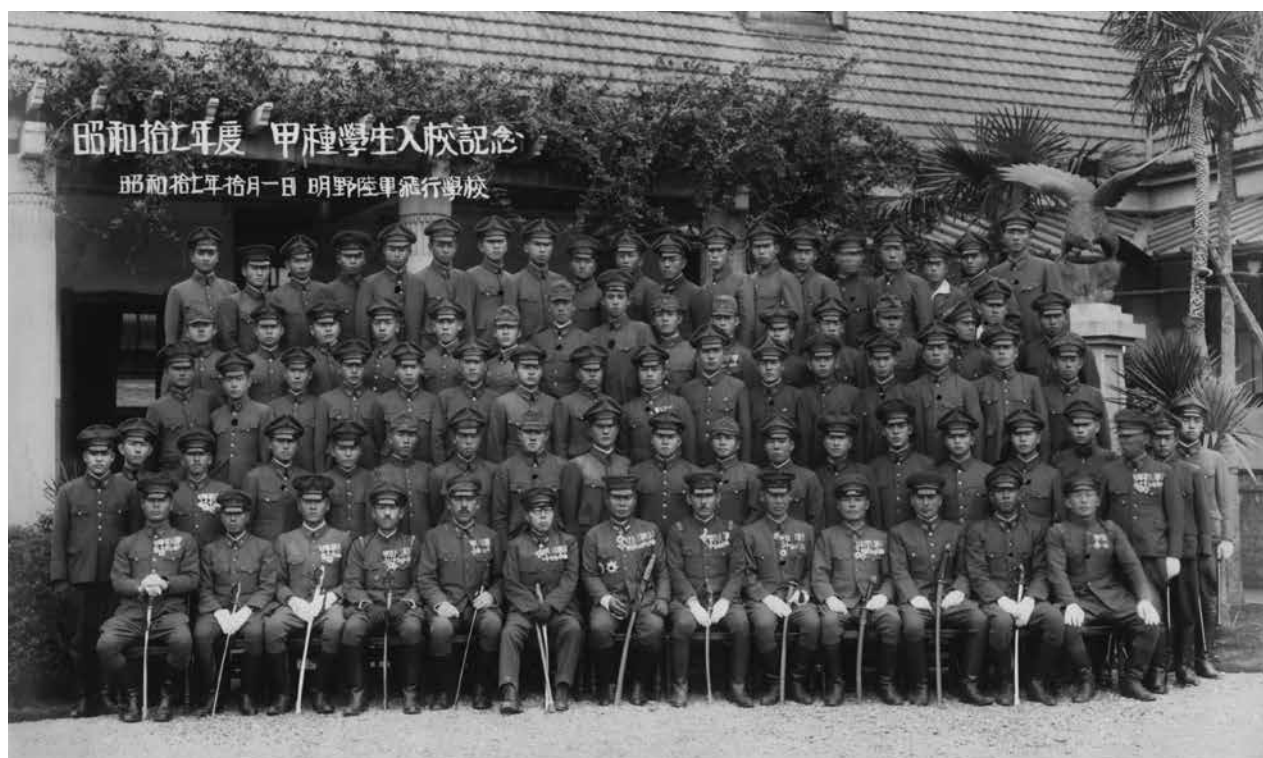
※陸軍では階級の前に兵科呼称をつけていたが、昭和15年に廃止された。それまでは歩兵大佐、騎兵中佐、砲兵少佐、工兵大尉、輜重兵中尉、航空兵少尉（准尉以下、下士官兵も同様）などと表記されていた。ただし、憲兵（大佐以下）、技術、主計、建技、軍医、薬剤、齒科医（少将以下）、衛生（少佐以下）、獣医、獣医務（少佐以下）、軍楽（少佐以下）、法務、法事務（少佐以下）について（以上特記のないものは中将以下）は終戦まで階級呼称に専科名を冠した。

※日本海軍は昭和17年11月に大幅な制度変更を行ない、機関大尉、機関中尉、機関少尉や特務大尉、特務中尉、特務少尉、予備大尉、予備中尉、予備少尉の階級呼称を、たんに大尉、中尉、少尉と呼称することに変更した。

※同じく日本海軍は昭和17年11月に下士官以下の階級呼称を改定し、とくに兵については陸軍に準じた呼称となった。階級章のデザインもそれまで丸型であったものを五角形のものに変更している。

目次 CONTENTS

はじめに	2		
◆陸軍 1 将校-正装・礼装	6	◆海軍 1 将校-正装・礼装・通常礼装	38
ARMY1 OFFICER Full dress, Service dress		NAVY1 OFFICER Full dress, Service dress	
◆陸軍 2 将校-軍装・略装	10	◆海軍 2 将校-軍服・外套・雨衣	42
ARMY2 OFFICER Service dress, Undress uniform		NAVY2 OFFICER Dress, great coat, rain coat	
◆陸軍 3 下士官・兵-軍装	14	◆海軍 3 下士官・兵	46
ARMY3 NCO PRIVATE Service dress		NAVY3 PETTY OFFICER, SEAMAN	
◆陸軍 4 特殊勤務被服・作業衣・運動衣	18	◆海軍 4 特殊勤務被服	50
ARMY4 Special clothing for extreme climates, Working dress		NAVY4 Special duty uniform	
◆陸軍 5 近衛兵	22	◆海軍 5 特殊勤務被服	54
ARMY5 The Imperial Guards		NAVY5 Special duty uniform	
◆陸軍 6 憲兵・法務兵・軍楽兵	26	◆海軍 6 軍楽兵・法務兵・学生	58
ARMY6 Military Police Judge advocate Military Band		NAVY6 Military Band Judge advocate Student	
◆陸軍 7 戦車兵・騎兵	30		
ARMY7 Tank trooper, Cavalry			
◆陸軍 8 飛行兵・挺進兵・船舶兵	34		
ARMY8 Air man, Paratrooper, Shipping trooper			



陸軍

1

将校 - 正装・礼装

OFFICER
Full dress
Service dress

正帽

Full dressed cap



前章
Cap badge

正装ボタン
Full dress button



顎紐のボタン
Button of chinstrap

正装(襟)

Full dressed (collar)



将官
General



兵科色
Arm of the service color

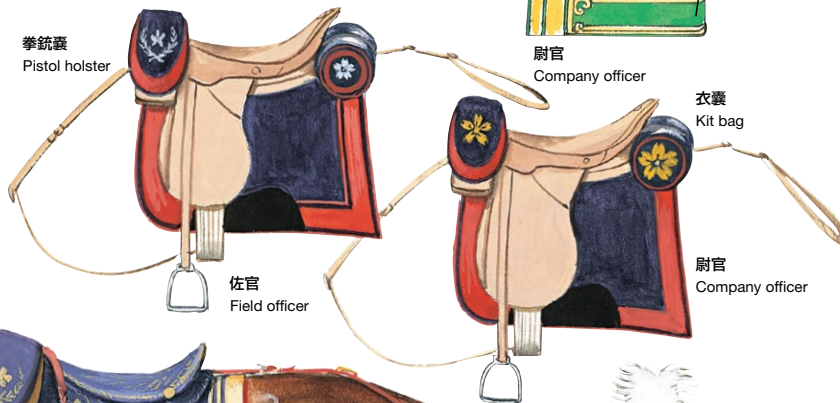
佐官
Field officer



尉官
Company officer

衣囊
Kit bag

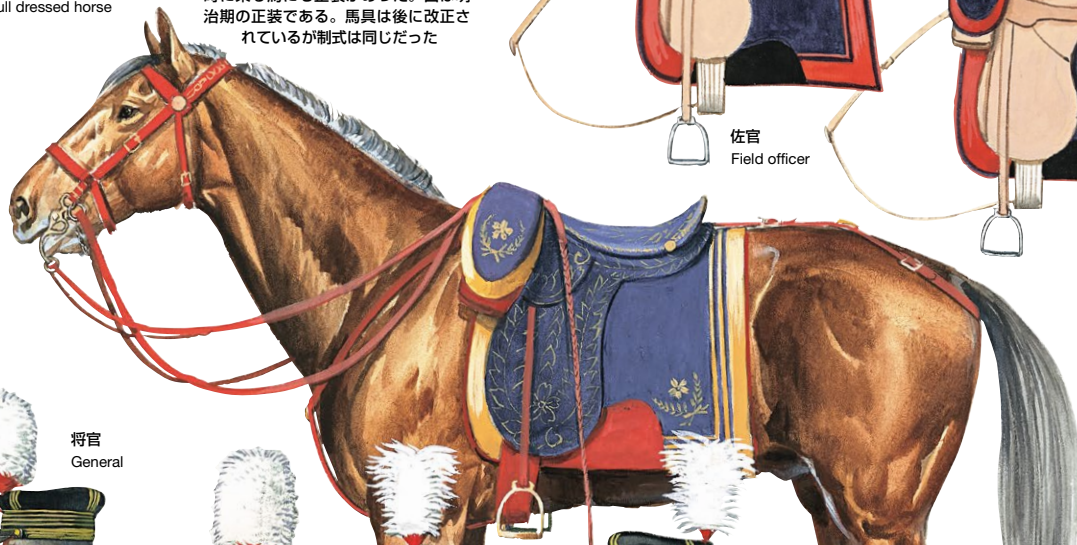
拳銃囊
Pistol holster



正馬装

Full dressed horse

乗馬本分と云う身分の将校は、正装の時に乗る馬にも正装があった。図は明治期の正装である。馬具は後に改正されているが制式は同じだった



将官
General



▲肩から掛けているのは大勲位菊花大綬章の正章、副章は左胸につけている
Wearing Order of "Daikunni Kikka Daijusho"

大将正装
前立は駝鳥の羽根、黒靴

Full dress of General ostrich feather plume, black shoes

歩兵中佐正装

前立は白鷺の羽根。尉官、准尉も同じ
Infantry Lieutenant Colonel full dress, white heron plume (also company officer's and warrant officer)



▲騎兵少佐正装

近衛騎兵と一般騎兵は昭和16年の騎兵科廃止まで儀礼衣が正衣だった
Cavalry major full dress

◀砲兵大尉礼装

礼装は正装から前立と飾帯を外したもの。昭和13年改正の軍刀を下げている
Service dress artillery Captain with military sword model 1938

正装(袖)

Full dressed (cuff)



将官 General 佐官 Field officer 尉官 Company officer 准尉官 Warrant officer

兵科色
Arm of the service color

袖の突起章

Full dress cuff chevron

Indicates the rank

- 大将7本 General 7 strips
- 中将6本 Lieutenant general 6 strips
- 少将5本 Major general 5 strips
- 大佐6本 Colonel 6 strips

- 中佐5本 Lieutenant Colonel 5 strips
- 少佐4本 Major 4 strips
- 大尉3本 Captain 3 strips
- 中尉2本 Lieutenant 2 strips
- 少尉1本 2nd Lieutenant 1 strips

正袴

Full dress trousers



将官 General officer 佐官 Field officer

将官は兵科色による区別はなく、赤色のみ
General's always with red stripes

- 憲兵科 Military police
- 騎兵科 Cavalry
- 工兵科 Engineers
- 輜重兵科 Transport Supply
- 獣医科 Veterinary
- 歩兵科 Infantry
- 砲兵科 Artillery
- 航空兵科 Airman
- 経理科 Accountant's
- 軍楽科 Military Band
- 衛生科 Medical

この兵科色は昭和15年9月3日に廃止された
Arm of the service color

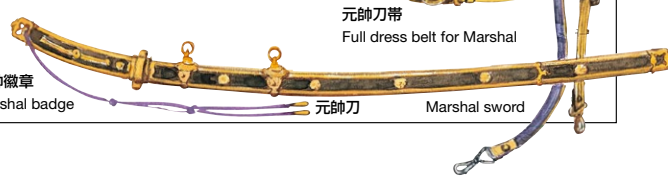
元帥

Marshal



元帥徽章
Marshal badge

武官の最高位は元帥だが、元帥と云う階級は無く、元帥府と云う役所の職員である。元帥の制服と云うものはなく、大将の正装の右胸に元帥徽章をつけ、元帥刀を佩く。



元帥刀帯
Full dress belt for Marshal

元帥刀
Marshal sword

正肩章

Full dress shoulder strap



将官(大将)
General officer (General)



尉官(少尉)
Company officer (2nd Lieutenant)



(少将)
(Major General)



(中尉)
(Lieutenant)



佐官(中佐)
Field officer (Lieutenant Colonel)



准尉
Warrant officer



(大佐)
(Colonel)



(准尉)
(Warrant officer)

通礼肩章は昭和13年に制定された肩章で、普通の軍装に装着して使用

通常礼装肩章

Service dress shoulder strap

▼昭五式軍衣の歩兵大尉通礼装

礼装は長袴、茶靴または黒靴

Service dress of infantry Captain model 1930, brown or black shoes

九八式軍衣の少尉

通常礼装、昭和13年制定の山形胸章をつけている

2nd Lieutenant service dress with breast chevron model 1938



准尉の正袴の側線は細い
A Warrant officer's side strap is thin

工兵准尉礼装
Service dress of Engineer Warrant officer



九八式軍衣の少佐通常礼装
Major service dress model 1938



山形胸章
Mountain-shaped chest badge

制定時は11科色があったが、廃止後は技術部(黄色)と経理部、衛生部、獣医部、軍学部の5部のみになり、昭和17年初めて全部廃止された
11 departmental colors were initially designated, but these were reduced to just 5 -- Technicians (yellow), accounting, sanitation, veterinary and military schooling, and then eliminated completely in early 1942.

将校 - 正装・礼装

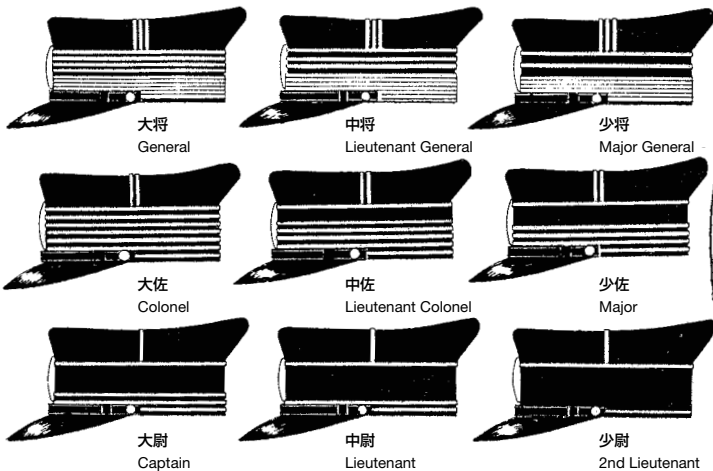
OFFICER
Full dress
Service dress

日本陸軍の制服は明治3年に始まった。その後、昭和期まで何度かの改正があったが、太平洋戦争中は主に昭和13年改正の制服で戦った。(九八式軍衣)
当時の日本軍の正式名称は「大日本帝国陸(海)軍」。であり、国家年号は日本独自の神武暦を用い、昭和15年(1940年)は神武暦2600年となる(神武暦とは神道式の暦)。昭和4年から被服、兵器の制式名は年号の

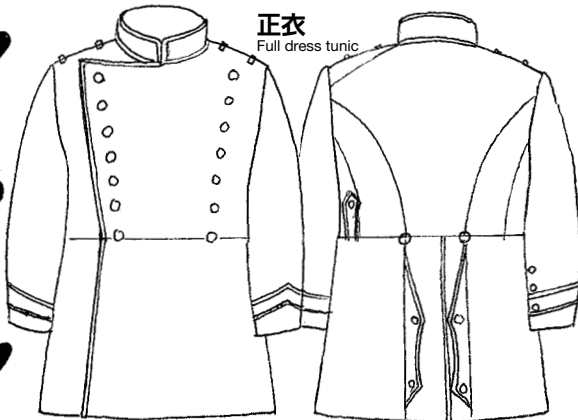
末尾2桁を用いた。例えば九七式中戦車=2597年式=昭和12年(1937)となる。
陸軍の制服には、正装、礼装、通常礼装、軍装、略装があった。
大礼服と呼ばれた正装は、宮中参賀、紀元節、天皇節、明治節、軍旗、勲章拝授、観兵式、靖国参拝、実家の冠婚葬祭など。礼装は宮中晩餐会、親任式、親族の冠婚葬祭など。通常礼装は宮中午餐会、観櫻、観菊、任官、叙任

叙勲、行幸参集、離任式、勲章授与式、一般の冠婚葬祭など。軍装は観兵式、靖国参拝、勲章授与、命令布達式、離任式、衛戍勤務、動員部隊、演習、軍法会議など。略装は前の項に該当しない時に用いた。

正帽 Full dressed cap

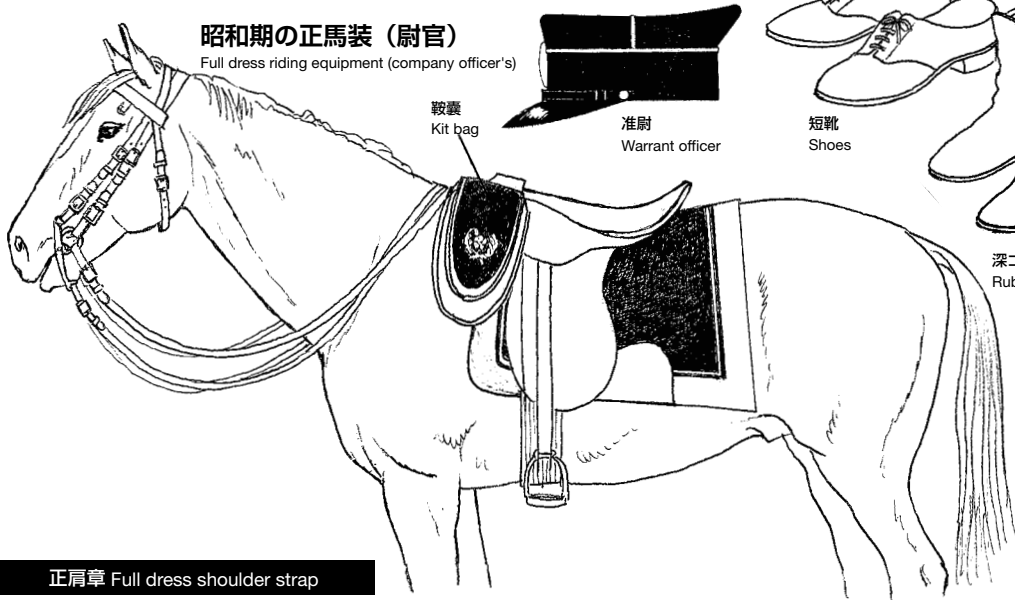


正衣 Full dress tunic

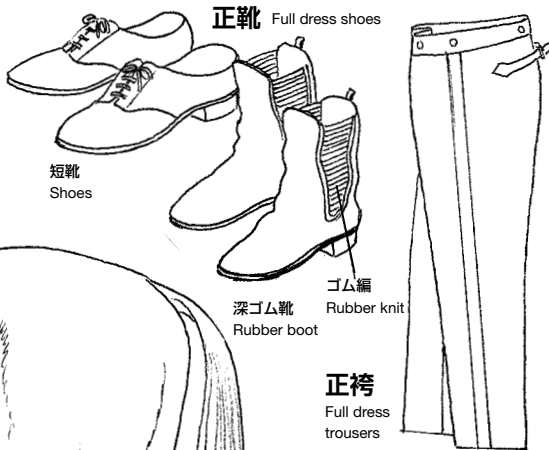


昭和期の正馬装(尉官)

Full dress riding equipment (company officer's)



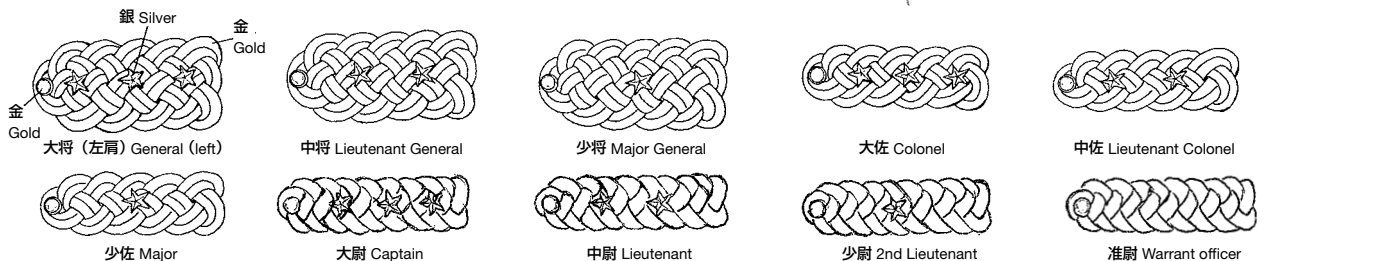
正靴 Full dress shoes



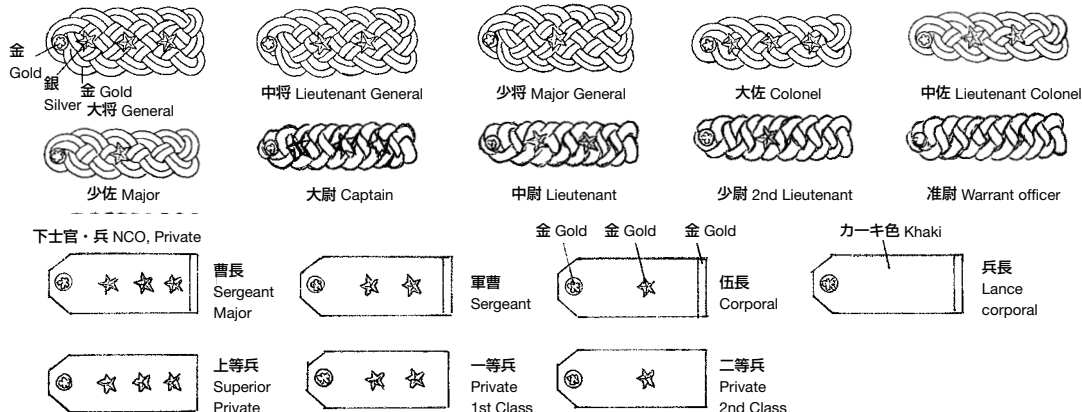
正袴 Full dress trousers

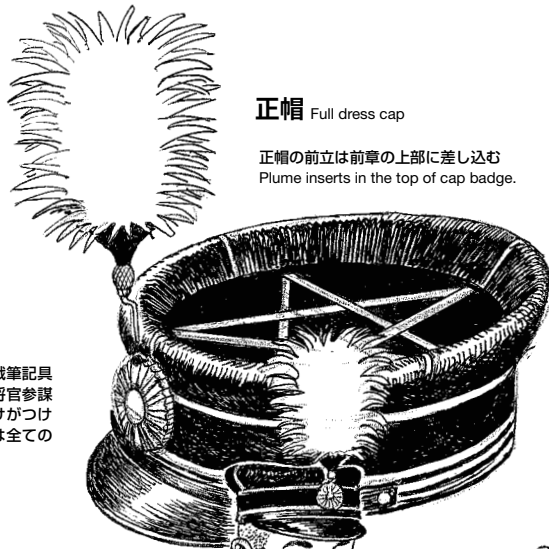
騎乗のときは靴に拍車をつける。
騎兵佐尉官は常に持っている
Spurs worn when riding
cavalry officers wear always.

正肩章 Full dress shoulder strap



通常礼装肩章 Service shoulder strap





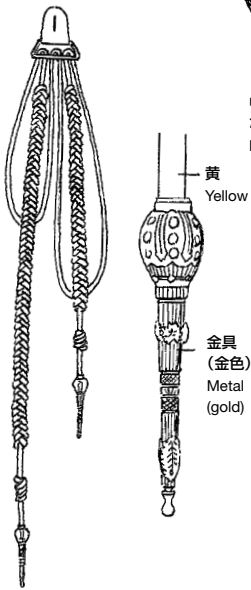
正帽 Full dress cap

正帽の前立は前章の上部に差し込む
Plume inserts in the top of cap badge.

飾緒

aiguillette

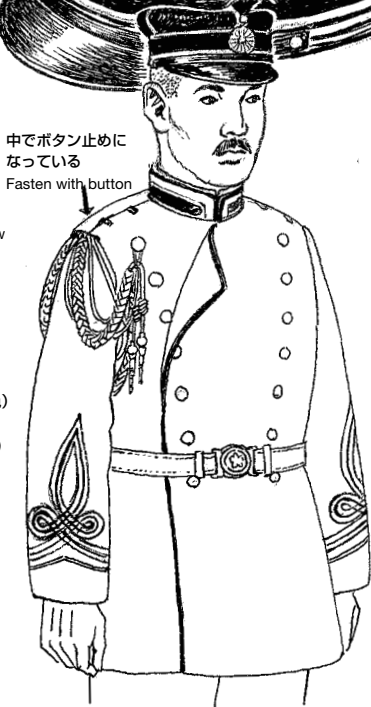
ナポレオン時代の野戦筆記具の名残りで、平常は将官参謀将校、皇族付武官だけがつけていたが、式典の時は全ての将校につけられた。



中でボタン止めに
なっている
Fasten with button

黄
Yellow

金具
(金色)
Metal
(gold)



正肩章

Full dress shoulder strap



止め金具
Clasp

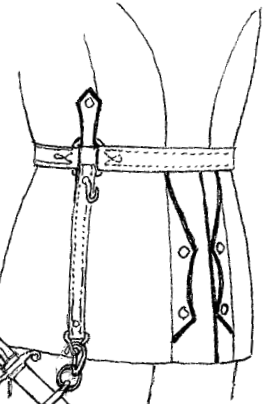
正肩章の付け方
Fixed full
dress shoulder
strap

赤(裏) Red

金 Gold

黒 Black

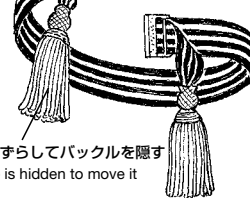
正刀帯 Full dress belt



飾帯

Sash

差し込み
Buckle

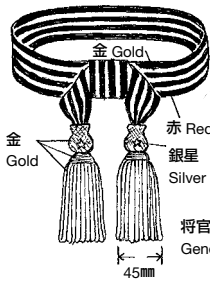


これをすらすらしてバックルを隠す
Buckle is hidden to move it

☆☆ 大将
General

☆☆ 中将
Lieutenant General

☆ 少将
Major General



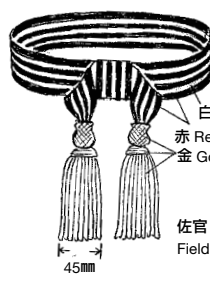
金 Gold

赤 Red

銀星 Silver star

将官 General

45mm



白 White

赤 Red

金 Gold

佐官 Field officer

45mm



白 White

赤 Red

尉官 Company officer

36mm

剣を吊り上げるときは環にかける。
軍刀を吊る略刀帯も同じ方式
Ring is hooked where sword hangs.

明治末期の佐・尉官飾帯は赤色部分が
兵科色であった

正刀全体図
Full dress sword



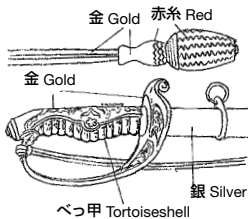
正刀 Full dress sword

将官
General

佐官
Field officer

尉官
Company officer

准尉
Warrant officer



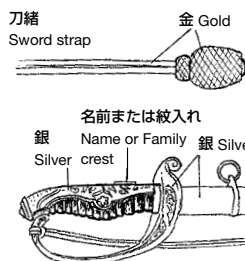
金 Gold

赤糸 Red

金 Gold

銀 Silver

べつ甲 Tortoiseshell



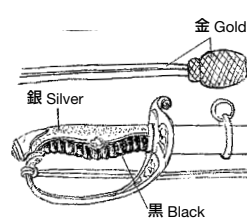
刀緒
Sword strap

金 Gold

名前または紋入れ
Name or Family

銀 Silver

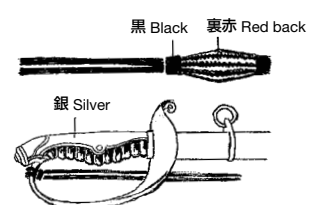
銀 Silver



金 Gold

銀 Silver

黒 Black



黒 Black

裏赤 Red back

銀 Silver

陸軍

2

将校 - 軍装・略装

OFFICER
Service dress,
Undress uniform

▼隊長章 (右胸)
Commander's badge



大、中隊長用
Company and
battalion commander



連隊、戦隊の長用
Regiment commander

軍刀

Military sword

日本の古式よった軍刀は昭和9年に制定された。始めは
吊り環が二つだったが、昭和13年に一つになった。

▼日中戦争初期まで使われた日本独特の両手握りのサーベル
Japanese style saber that held with both hands



▶昭和9年制定の軍刀
Military sword model 1932



▶野戦用に革の鞘を巻いたもの
(昭和13年型)
Military sword model 1938
with leather sheath for field



▼指揮刀 (刀身は刃引)
Command sword (without blade)



将校用馬装

Officer's riding
equipment

将校用馬具バッヂ
Badge for officer's
riding equipment



鞍嚢 Kit bag

外套、雨衣
Greatcoat, raincoat

刀緒 Sword strap

刀緒の裏
Back side
of strap

将官 赤地に金錦3条、昭和15年9月以降は佐官と
同じ絛章になる General officer three gold lines in red
佐官 - 赤 Field officer - red
尉官 - 青 Company officer - blue

胴締め (裏は革) fabric belt (leather back)
略刀帯 Undress sword belt (worn under the tunic)

胴締めと略刀帯

Fabric belt and undress sword belt

略刀帯は上衣の下に締めて軍刀を
吊り、胴締めは上衣の上につける。

軍装

Field service dress

昭五式軍衣の少将
将官は襟の兵科色なし。銀色の飾緒は
皇族付武官



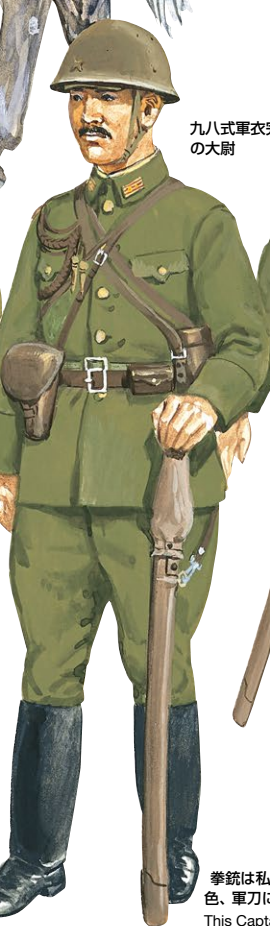
This Major General wears model 1930
service dress, without arm of service
color of collar, silver aiguillette indicates
military attaché to the Imperial family.



副官懸章をつけた騎兵中佐
(昭五式)
Cavalry Lieutenant Colonel
with adjutant sash (model
1930)



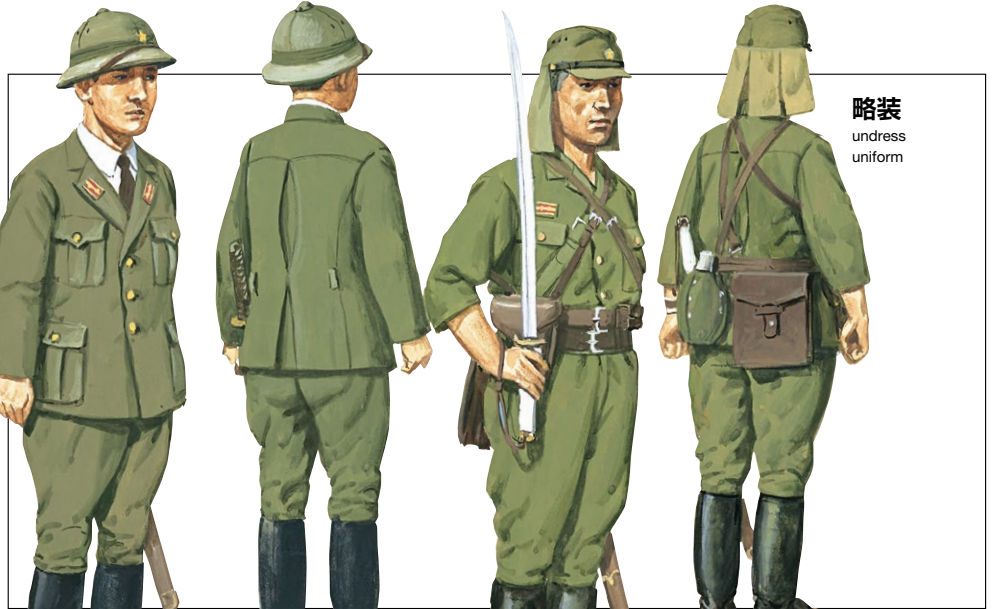
週番懸章をつけた歩兵少尉
(昭五式)
Infantry 2nd Lieutenant
with sash that indicates duty
officer of the week (model 1930)



九八式軍衣完全軍装
の大尉

拳銃は私物のブローニング、野戦用飾緒は茶
色、軍刀に柄袋をはめている
This Captain wears model 1938 (Type 98)
service dress with full equipment, his private
property Browning pistol, brown color field
aiguillette, covered hilt of military sword.

三式軍衣の少尉
将校用背囊をつけ、革脚絆をつけている
This 2nd Lieutenant wears model 1943 (Type 3) service dress, officer's knapsack, leather ankle boots.



略装
undress
uniform

防署帽 防署衣の中尉
野戦ではネクタイを外しシャツを開襟とする
This 2nd Lieutenant wears sun helmet and tropical uniform, a necktie is put off and a shirt collar is worn outside of the the tunic collar in a field.

防署襦袢(シャツ)をつけた中尉
軍刀に汗よけの白布を巻いている
This Lieutenant wears tropical shirt, note the white band wound hilt.



将官-3本 General officer three lines
佐官-2本 Field officer two lines
尉官-1本 Company officer one line

九八式雨衣(レインコート)の大尉
外套や外被のフードを被った時、階級章が隠れてしまうので、留め布の上に階級を示す線をつける
The Captain wears model 1938 (Type 98) raincoat, the lines in front of the neck indicates the rank.



三式の外装をつけた少尉
袖に尉官を示す線(1本)と少尉を示す星章が一つつく
This 2nd Lieutenant wears model 1943 (Type 3) greatcoat, the single line and a star on the cuff star on the cuff indicate 2nd Lieutenant.



戦争末期のシングルの外套の中佐
袖章2本と星章2個(中佐)がついている
Lieutenant Colonel wearing the late model single-breasted overcoat, double lines and two stars indicate Lieutenant Colonel

昭和13年までの襟章を着用した佐官
Field officer with pre-1938 model collar patch.

将官-星3個
General officer three stars
佐官-星2個
Field officer-two stars
尉官-星1個
Company officer-one star



後期の将校マントを着た准尉
Warrant officer wearing late officer's mantle.

将校 - 軍装・略装

OFFICER
Service dress,
Undress uniform

軍衣袴 field service dress

胸章 (1938-1943)

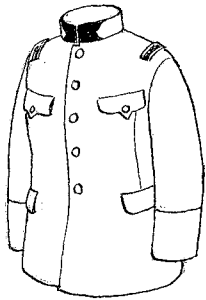
Breast badge



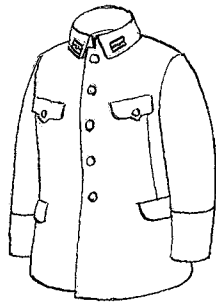
技術・衛生・軍楽
經理・獣医

昭和5年(1930年)制定の軍衣は詰襟で肩章付、袖に折り返しがあるのが将校用軍衣の特徴。私物なので身体(身長・体格)に合わせた。襟を高くしたりできた
九八式(1938年)の軍衣は折り襟で、階級章は襟につけた
右胸に付けた兵科色の山型章は昭和15年に

廃止された。胸章の廃止は昭和18年。
三式(1943年)は階級章が大きくなり、袖に将校を表わす濃緑色丸布座付き星章がついた。袖線は将官が3本、佐官が2本、尉官が1本、星は大將、大佐、大尉が三つ、中將、中佐、少尉が二つ、少將、少佐、少尉が一つであった。



昭5式軍衣
Model 1931 service tunic

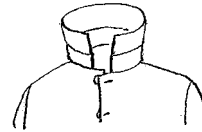


98式軍衣
Model 1938 (Type 98) service tunic

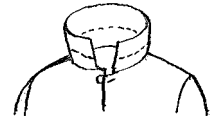
長袴
(外出・
営内用)
Long
trousers



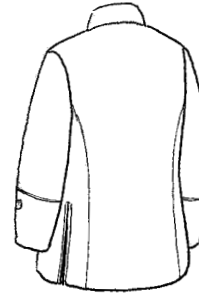
短袴
(野戦用)
Breeches



将校用の襟
Stand collar of officer



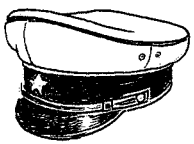
兵用の襟
Stand collar of private



三式軍衣
Model 1943 (Type 3) service tunic

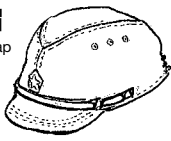


軍帽 Peaked cap



▲明治38年(1905年)に制定されたもので、その後の変化は少なかった

略帽
field cap

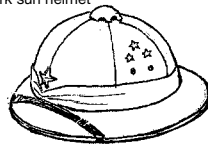


▲野戦用で戦闘帽と呼ばれ、鉄帽の下にそのまま被れた。夏用と冬用があった



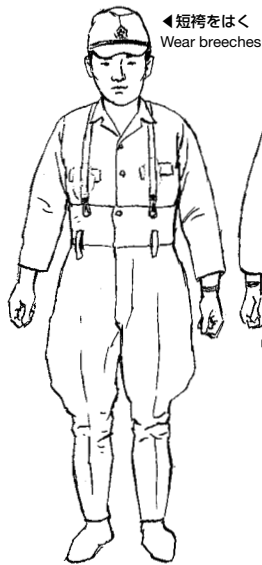
将校用前章とストラップボタン
Officer's cap badge and chinstrap button

防着帽
Cork sun helmet



▲フェルト型押しで2、3種類あった。
星三つは将官用、二つが佐官用、一つが尉官用

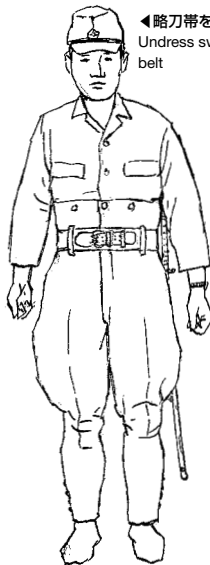
着装



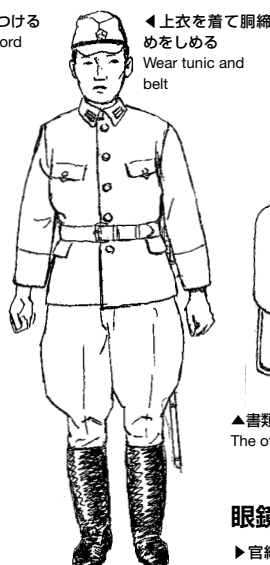
◀短袴をはく
Wear breeches



◀短袴後面
Back side
of breeches



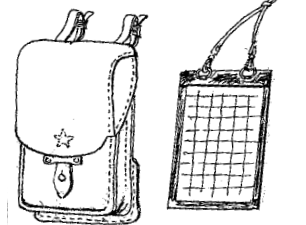
◀略刀帯をつける
Undress sword
belt



◀上衣を着て胴締めをしめる
Wear tunic and
belt

図囊

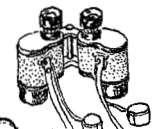
Dispatch case



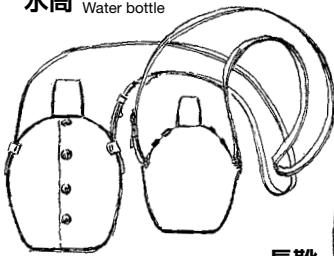
▲書類や地図を入れる鞆で、将校用は大型であった
The officer's dispatch case was bigger than other's

眼鏡 Field glasses

▶官給品は九五式眼鏡で、ツァイスなどの私物も多く見られた

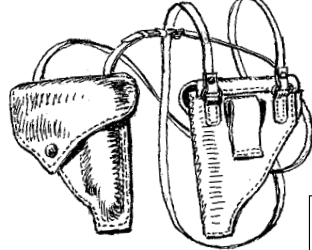


水筒 Water bottle



◀兵用より厚いアルミ製で、旧型の物は小さく、後に大型となった

九四式拳銃囊 Type 94 pistol holster



◀官給品は九四式拳銃であったが、ブローニングやモーゼルなども多かった

長靴
Boots

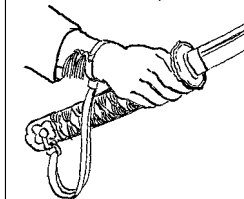


◀長靴は黒か茶でかかるとに拍車留がついている。上部の切口が水平なのが一般将校用、やや曲線のついたのが騎兵用であった。
将校用編上靴は上部が長く、この上から革脚絆、ゲートルなどを巻いて使用した

短靴
Shoes



刀緒の使い方
Sword strap in use



肩章 Shoulder strap

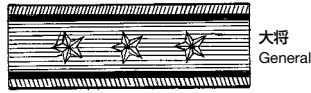
日本帝国陸軍の階級は将校、准士官、下士官、兵の四段階に分けられていた。下士官以上を陸軍武官と呼び、将校は勅任官、奏任官、准士官は判任官という官職の武官であった。

正規の将校コースは陸軍幼年学校（年齢13～15才の志願者、期間3年）、陸軍予科士官学校（2年）、陸軍士官学校（1年8ヶ月）であり、陸士卒業と同時に少尉に任官した。さらに上級武官を目指すには陸軍大学へ進んだ。陸軍士官学校昭5式軍衣の階級章は肩章であった。

将官は通称ベタ金と呼ばれたように金の部分が多く、反対に最下級の二等兵の肩章は赤一色なので赤タンと呼ばれた。

襟には鍔形でラシャ地の兵科色をつけ、その上に兵科徽章、連隊番号などを付けた。

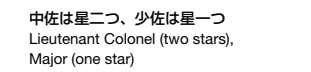
金 Gold



大将
General



大佐
Colonel

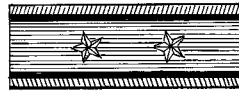


中佐は星二つ、少佐は星一つ
Lieutenant Colonel (two stars),
Major (one star)

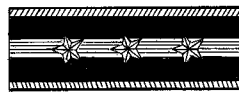


軍曹は星二つ、伍長は星一つ
Sergeant (two stars),
Corporal (one star)

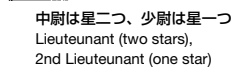
赤 Red



中将
Lieutenant
General



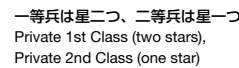
大尉
Captain



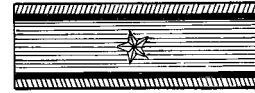
中尉は星二つ、少尉は星一つ
Lieutenant (two stars),
2nd Lieutenant (one star)



上等兵
Superior
Private



一等兵は星二つ、二等兵は星一つ
Private 1st Class (two stars),
Private 2nd Class (one star)

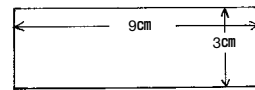


少将
Major
General



准尉/
特務曹長
Warrant
officer

肩章寸法 size of shoulder strap



大将以下伍長までの星は金、兵の星は黄ラシャ
General ~ Corporal : gold star, private : yellow star

徽章 Badge



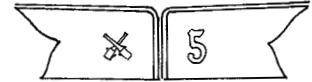
歩兵第34連隊付き将校以下兵まで
34th Infantry regiment



左の連隊付き見習士官
34th Infantry regiment's
probationary officer



後備第70連隊付き将校以下兵まで
70th second reserve regiment



山砲第5連隊付き将校以下兵まで
5th mountain gun regiment



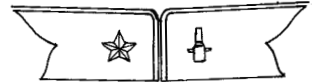
上段右端の連隊付き見習士官
5th mountain gun regiment's
probationary officer



後備第9山砲隊付き将校以下兵まで
9th second reserve mountain gun
troop



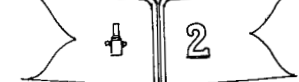
連隊番号のない重砲兵隊付き将校以下兵
まで
Heavy artillery



左の隊付き見習士官
Heavy artillery probationary officer



師団毎に番号をつけた後備隊付き将校以下
兵まで
Second reserve troop with divisional
number



将校用の襟は兵より高い、鍔形は自由な形
The officer's stand collar is higher than
private's



襟部徽章をつけない隊付き見習士官
Probationary officer without collar badge



師団の称号のみを付けた後備山砲隊付き
将校以下兵まで
Second reserve with only divisional
insignia



予備、後備見習士官
Second reserve probationary officer



師団の称号のみをつけた後備山砲隊付き
将校以下兵まで
Second reserve mountain gun troop with
only divisional insignia



教導隊付き各兵科下士官
NCO of military school



国民軍隊付き将校以下兵まで (台湾、朝鮮)
National army (Taiwan, Korea)

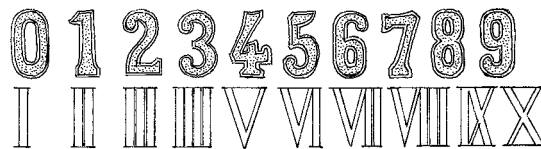
襟部徽章 Collar Badge



- ① 台湾歩兵連隊 Taiwanese infantry regiment
- ② 電信隊 Signal troop
- ③ 自動車隊 Motorcar troop
- ④ 軍楽隊 Military band
- ⑤ 重砲兵連隊 Heavy artillery regiment
- ⑥ 戦車隊 Tank troop
- ⑦ 気球隊 Balloon troop
- ⑧ 士官候補生 Cadet Probationary officer
- ⑨ 見習士官 Probationary officer
- ⑩ 独立守備大隊 Independent guard battalion
- ⑪ 鉄道連隊 Railway regiment
- ⑫ 飛行隊 Air man
- ⑬ 諸学校教導大隊 Military school
- ⑭ 山砲兵隊 Mountain artillery
- ⑮ 台湾山砲兵連隊 Taiwanese mountain artillery
- ⑯ 高射砲隊 Anti-aircraft artillery
- ⑰ 後備役見習士官 Second reserve Probationary officer

- ⑰ 精勤章 Diligence badge
- ⑱ 鞆工長 Saddler
- ⑲ 靴工長 Shoemaker
- ⑳ ラッパ長、ラッパ手 Bugle major, bugler
- ㉑ 上等看護兵 Senior nurse
- ㉒ 火工掛下士 NCO of smith
- ㉓ 蹄鉄工長 Farrier major
- ㉔ 銃工長 Gun smith major
- ㉕ 黄色 Yellow
- ㉖ 伍長勤務上等兵 Lance Corporal
- ㉗ 木工長 Master carpenter
- ㉘ 砲台監守下士 NCO of gun battery
- ㉙ 鍛工長 (鍛冶屋) Master smith

- ㉚ 縫工長 Master seamster
- ㉛ 薬劑官 Senior pharmacist
- ㉜ 薬劑生 Pharmacist
- ㉝ 磨工勤務 Medical grinder
- ㉞ 看護兵 Nurse
- ㉟ 看護長 Chief nurse
- ㊱ 陸軍監獄長 Governor of army prison
- ㊲ 陸軍監獄監守長 Chief prison guard
- ㊳ 陸軍監獄監守 Prison guard

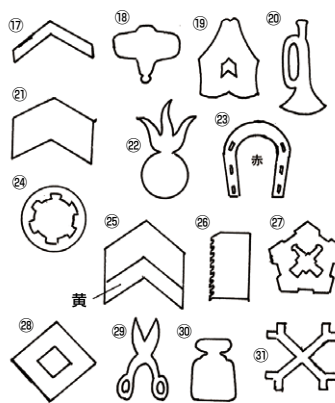


襟部徽章用アラビア数字
Arabic figures of collar
badge

襟部徽章用ローマ数字
Roman figures of collar
badge

右腕に精勤章をつけた歩兵第2連隊ラッパ手
This bugler of 2nd infantry regiment wears a
diligence badge on the right arm.

臂章 arm patch



(ひしょう 袖章、全て赤色) (red color)



ISBN978-4-499-23367-5 C0076 ¥3200E

定価 (本体3,200円+税)



9784499233675



1920076032004



新装版

日本の軍装

1930-1945

